

TEL 233 340 000

FAX 224 313 684

Email gakko@jpschool.cz

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

VLTAVA

自分との出会いと成長 (1学期終業式の校長講話より)

今日は1学期最後の日、そしてお別れの日ですね。3つの出会いは、お友達や先生との出会い、そしてチェコとの出会い、自分との出会いですが、これからお友達やチェコと別れる人もいます。でも、自分と別れることはないので、自分との出会いは常に新しく積み重ねられていきます。今日は、別れを惜しむとともに、1学期を終えた自分としっかりと向き合ってください。

入学式・始業式で学校の勉強は、「読むこと」「書くこと」「聞くこと」そして「話すこと」というお話をしました。覚えていますか。今日は、この4つの勉強から自分を振り返ってみるといいと思います。

まずは「読むこと」と「書くこと」。たくさん読んで、たくさん書く練習をしましたか。読める漢字や書ける漢字は増えましたか。小学校高学年から中学生では、ただ読めるだけでなく、書いた人が何を言いたいのかまで読み取れるようになりましたか。そして、書くことで覚えていることを確認したり、自分の考えを表現したり、深めたりできたでしょうか。また、算数の計算問題や理科や社会などの問題も、学校では答えは必ず「書く」ことです。間違えなくきちんと計算し、正しい文章を書けるようになったでしょうか。

次に、「聞くこと」と「話すこと」。先生やほかの人が話をしているとき、きちんと黙って聞けましたか。聞いたことを1回で理解して行動に移すことはできましたか。思わず自分のことを話したくなる時も、相手の話が終わるまで相手の話をしっかりと聞けましたか。そして、自分の考えや意見をきちんと話せましたか。実は、「聞くこと」と「話すこと」は授業以外でも大切な力です。授業でしっかりと話の聞けない人は普段の生活でも人の話を聞かないで自分中心の生活をしている人ですね。人と言うのは、みんな違った考えを持つものです。ですから、相手としっかりと向き合って「話し合う」ことができましたか。これができないと、相手のことを一方的に非難したり、文句を言ったり、最後にはけんかが起こります。おとなの世界では、話し合いを通してお互いの考えを深めることを「対話」といいます。対話できないと戦争が起こるのかもしれない。学校では「学びあい」と言います。また、相手の気持ちを考えて話せる人は、聞こえない相手の心の声まで聴ける人なんです。

こんなことを振り返ってください。絶対に皆さんは成長しているはずですよ。自分の成長を知ることとはとても大切なことです。自分の成長を着実に確認することで、「自信」が生まれます。さあ、通知表の中で先生からほめてもらったことやよかった成績を「自信」にしてください。もちろん、ちょっとできなかったことや悔しかった成績は2学期からの課題です。しっかりと自分を見つめて、自分との出会いをしましょう。以上です。

大槻優子先生が7月で退職されます。本当にお世話になりました。

略歴（御茶ノ水女子大学児童学科を卒業し、同大学院児童臨床学コース修士課程修了。同大学院助手を経て、文部省交換留学奨学生としてチェコのカレル大学児童医学部児童精神医学科に所属し、同大学付属病院入院棟での臨床心理治療担当。同大学哲学部心理学科修士資格取得。）プラハ日本人学校創立時より常勤講師、非常勤講師として36年間勤務されました。チェコの人々に幅広く日本人学校の活動を周知させるとともに、



現地校との交流やチェコ文化理解の授業を通して児童生徒の異文化体験を積極的に推進されました。

英会話のレイン先生も7月をもって退職されます。ありがとうございました。